

000033-20	ペネトン	作成日	2006年10月1日
第10版	株式会社 イチネンケミカルズ	改定日	2026年1月15日

安 全 デ ー タ シ ー ト (S D S)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名) ペネトン
製品コード 000033

供給者情報

会社名
住所
担当営業部門
電話番号
FAX番号
電子メールアドレス
緊急連絡先電話番号

奨励用途 浸透潤滑剤
使用上の制限 業務用

製造事業者等の情報

会社名 株式会社 イチネンケミカルズ
住所 〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目2番8号
電話番号 03-6414-5600
FAX番号 03-6414-5620
担当部門 品質保証課
電話番号 0466-29-1781
FAX番号 0466-29-1780

2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性

エアゾール 区分1

健康に関する有害性

特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分2
特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分3
特定標的臓器毒性 (反復暴露) 区分1

※記載のないものは分類対象外または区分に該当しない、分類出来ない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

炎



感嘆符



健康有害性



注意喚起語

危険

000033-20	ペネトン	作成日	2006年10月1日
第10版	株式会社 イチネンケミカルズ	改定日	2026年1月15日

大量に吸入した場合

吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。

呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。

呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。

意識のない被災者には何も飲ませてはならない。

上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところをよく洗うこと。

衣服等に付着した場合は脱いで、皮膚に付着した部分を石鹼でよく洗うこと。

直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。

皮膚刺激または手荒れや発疹・水泡などが生じた場合は、直ちに医師の診断を受けること。

この製品は引火性なので、火気に注意して措置する。

気分が悪くなった場合は、医師の診断を受けること。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

目に入った場合

直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。

清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。

眼の刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。

激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受ける事。

飲み込んだ場合

万一飲み込んだ場合、口をすすいでください。無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受けること。意識のない場合、何も与えないこと。

子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。

医師に製品ラベルもしくは、SDSをみせる事。

呼吸が止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で、人工呼吸を行うが、その前に口の中に残っているものをぬぐったりしてよく除去する。

最も重要な兆候及び症状

特になし

応急措置をする者の保護

汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質に触れないよう手袋を使用するなど注意する。

医師に対する特別注意事項

必要に応じて、製品ラベル、SDS（本書）を見せる。

5 火災時の措置

消火剤

初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

000033-20	ペネトン	作成日	2006年10月1日
第10版	株式会社 イチネンケミカルズ	改定日	2026年1月15日

水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

水を消火に用いてはならない。

火災時の特有の危険有害性

特になし

特有の消火方法

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

容器が高温で破裂する恐れがあるので消火活動には十分距離をとる。

消火を行う者の保護

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する

作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

多量の場合、人を安全に待避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、吸着剤(おがくず・土砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止法

漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

火花を発生しない安全な用具を使用する。

7 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

吸入飲用不可 人体に害があるので飲まないこと。

吸入すると、人体に害があるので換気の良い所で使用すること。

000033-20	ペネトン	作成日	2006年10月1日
第10版	株式会社 イチネンケミカルズ	改定日	2026年1月15日

使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。

技術的対策

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

接触回避

- 裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
- 容器を接地(アース)すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 火花を発生しない工具を使用すること。
- 防爆型の電気機器(換気装置、照明機器等)を使用すること。
- 火気を使用している室内で使用しないこと
- 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 人体に向かって噴射しないこと、また噴射気体を直接吸入しないこと
- 眼、皮膚、または衣類に付けないこと。
- 取り扱い、屋外または換気のよい場所で行う。
- 取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。
- 取り扱いの都度、容器を密閉する。

保管

適切な保管条件

- 製品記載の保管条件を読み、適切に保管する事。
- 容器を密栓する事
- 日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。
- 耐腐食性あるいは耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
- 涼しい所、換気の良い場所で保管すること。
- 金属容器の場合、湿気の多い所、水周りなど容器が腐食しやすい場所におかないこと
- 熱/火花/裸火/高温のもののような着火原から遠ざけること。
- 品質保持期限を超えて保管をしないこと。

安全な容器包装材料

特になし

8 ばく露防止および保護措置

- リスクアセスメントの結果にしたがい、適切なばく露防止措置を講じる。
- 蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- 屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。
- 労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則）に沿った設備を設置する。
- 屋内は全体に換気する。換気の悪い場所及び蒸気が発生の多い場所には局所排気装置を設ける。

化学名または一般名	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
プロパン	—	5 ppm、12 mg/m3	TLV-TWA 1ppm
N-ブタン	未設定	5 ppm、12 mg/m3	TLV-STEL: 1, ppm、2, 37 mg/m3 (Explosion Hazard)

000033-20	ペネトン	作成日	2006年10月1日
第10版	株式会社 イチネンケミカルズ	改定日	2026年1月15日

i-ブタン	—	—	TLV-STEL: 1 ppm
水素化軽質油（高度精製鉱油）	—	3mg/m3（鉱油ミストとして）	5mg/m3（鉱油ミストとして）

化学名または一般名	厚生労働大臣が定める濃度基準値 （8 時間）	厚生労働大臣が定める濃度基準値 （短時間）
プロパン	1000ppm	—
N-ブタン	500ppm	—

記載の無いもの・「—」は、知見なし、あるいはデータなし、未設定

保護具

呼吸器の保護具

リスクアセスメントに基づいた適切な保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
必要に応じて保護マスクや呼吸器用保護具を着用する。
保護マスク：必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具 皮膚及び身体の保護具

リスクアセスメントに基づいた適切な保護手袋、保護衣（長袖作業服など）を着用する。
必要に応じて保護手袋保護衣（長袖作業服など）を着用する。
保護手袋：必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用すること。

目の保護具

リスクアセスメントに基づいた適切な保護めがね、保護面を着用する。
必要に応じて保護眼鏡を着用すること。
保護眼鏡（普通眼鏡型）：必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用すること。

9 物理的および化学的性質

物理状態	:	液体
色	:	淡褐色
臭い	:	僅か
融点/凝固点	:	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	:	200℃<
可燃性	:	可燃性液体
爆発下限及び爆発上限界／可燃限界	:	データなし
引火点	:	84℃
自然発火点	:	データなし
分解温度	:	データなし
pH	:	データなし
動粘性率	:	データなし
溶解度	:	水に不溶
オクタノール/水分配係数	:	データなし
蒸気圧	:	データなし

000033-20	ペネトン	作成日	2006年10月1日
第10版	株式会社 イチネンケミカルズ	改定日	2026年1月15日

密度及び／又は相対密度 : 0.81
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : データなし
その他のデータ : —

10 安定性および反応性

反応性 化学的安定性
通常の取り扱いにおいては安定である。

危険有害反応性の可能性
強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発をもたらす。

避けるべき条件
強酸化剤との接触を避ける。

混触危険性物質
強酸化剤(引火性物質のため、強酸化剤との接触を防ぐこと。)

危険有害な分解生成物
特になし

その他
特になし

11 有害性情報

成分名	急性毒性（経口）	急性毒性（経皮）	急性毒性（吸入：ガス）	急性毒性（吸入：蒸気）	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	皮膚腐食性／刺激性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	呼吸器感受性
プロパン	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない	分類できない	分類できない
N-ブタン	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
i-ブタン	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない（分類対象外）	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
水素化軽質油（高度精製鉱油）	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない（分類対象外）	分類できない	区分4	区分3	区分2B	分類できない

化学名または一般名	皮膚感受性	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性（単回暴露）	特定標的臓器毒性（反復暴露）	誤えん有害性
プロパン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分3（麻酔作用）	分類できない	区分に該当しない（分類対象外）
N-ブタン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分3（麻酔作用）	区分1（中枢神経系）	区分に該当しない（分類対象外）
i-ブタン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分1（循環器系）、区分3（麻酔作用）	分類できない	区分に該当しない（分類対象外）
水素化軽質油（高度精製鉱油）	区分に該当しない	区分2	高度に精製され区分されない	分類できない	区分2（肺）	区分1（肺、皮膚）	区分1

— ： 区分に該当しない / 分類できない / データがない

12 環境影響情報

000033-20	ペネトン	作成日	2006年10月1日
第10版	株式会社 イチネンケミカルズ	改定日	2026年1月15日

化学名または一般名	水生環境有害性 期（急性）	水生環境有害性 期（慢性）	長 オゾン層への有害性
プロパン	分類できない	分類できない	-
N-ブタン	分類できない	分類できない	分類できない
i-ブタン	分類できない	分類できない	分類できない
水素化軽質油（高度 精製鉱油）	分類できない	分類できない	-

— ： 区分に該当しない / 分類できない / データがない
※ ： JISの改正に伴い、区分がつかなかったもの（「区分に該当しない(分類対象外を含む)」あるいは「分類できない」）

13 廃棄上の注意

廃棄する際は、中身を使いきってから、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

使用者が廃棄のため、穴を開けないこと。廃棄処理業務として穴をあける場合、十分な熟練者が火気・静電気・引火の予防処置を十分に取って行うこと。

容器、包装等の分別可能なものはリサイクル処理を行ってください。

14 輸送上の注意

国際規制

国連番号	エアゾール	1950
国連分類	ガス 引火性ガス	2.1
包装等級		N. A.
マルポール条約における海洋汚染物質の判定		非該当

国内規制

容器イエローカード	
エアゾール	126

積載方法

運搬時の積み重ね高さは3 m以下

混載禁止

第1類及び第6類の危険物

高圧ガス

輸送の特定の安全対策及び条件

「火気厳禁」

容器の破損、漏れがないことをたしかめる。

荷くずれ防止を確実に行う。

該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。

直射日光を避ける。

000033-20	ペネトン	作成日	2006年10月1日
第10版	株式会社 イチネンケミカルズ	改定日	2026年1月15日

水漏れ厳禁。
横積み厳禁。
夏場の輸送時には、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

15 適用法令

火薬類取締法

対象外

高圧ガス保安法

エアゾールのため非該当

消防法

第4類第三石油類非水溶性 危険等級III

毒物及び劇物取締法(毒劇物取締法)

非該当 含有しない／閾値未満／混合物 等

労働安全衛生法

表示・通知義務物質 令和9(2027)年4月1日施行分対応

N-ブタン, プロパン, i-ブタン, 水素化軽質油（鉱油）

リスクアセスメント

リスクアセスメントの対象

濃度基準値設定対象物質

下記参照

プロパン, N-ブタン

皮膚等障害化学物質

非該当 含有しないもしくは、閾値未満

有機溶剤中毒予防規則

非該当 含有しないもしくは閾値以下

特定化学物質 管理第2類物質・特定管理物質

非該当 含有しないもしくは、閾値未満

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）
2021年改正対応

非該当 含有しないもしくは、閾値未満

16 その他の情報

参考文献

JIS Z 7253 : 2025 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ）
中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ
15107の化学製品（化学工業日報社）

000033-20	ペネトン	作成日	2006年10月1日
第10版	株式会社 イチネンケミカルズ	改定日	2026年1月15日

J A C A（日本オートケミカル工業会）編集：化学物質管理データベース

オートケミカル製品ののための製品安全データシート作成指針改訂版（日本オートケミカル工業会）

危険物船舶運送及び貯蔵規則（海文堂）

産業中毒便覧（医歯薬出版株式会社）

化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂10版

事業者向けGHS分類ガイダンス第2版(平成23年3月) 経済産業省

GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針(日本化学工業会)

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

ICC SDS作成プログラム Ver. 18.01